

御浜町次期総合計画（R3.4～）（素案）について

（抜粋）

基本目標 4. 活力と魅力を生み出すまちづくり

（産業）

○この部門で推進する施策に関連する SDGs における目標



○施策の方向性

「年中みかんのとれるまち」をキャッチフレーズに、農家所得の向上を図るため、担い手への農地集積、後継者確保・育成、6次産業化、消費者交流や観光資源としてのみかんの活用など、基幹産業であるみかん栽培の高度化を促進するとともに、生産者、JA、流通事業者、その他関係団体と連携し産地の再生に取り組みます。

また、三重くまの森林組合や紀南漁業協同組合と一層の連携を図り、新たな森林経営管理制度に基づいた林業経営と森林資源の適切な管理の両立に取り組みるとともに、栽培漁業による水産資源の確保と水産物の特産品化を促進します。

自立した持続可能な地域を目指し、「地域振興のための商工・観光」という側面から、定住・移住の促進や交流人口の増加、人口流出の抑制に必要な経済的な環境を整えることに挑戦します。

このため、商工関係団体をはじめ多様な主体との協同を主導的に進めるとともに商工観光分野を中心とした地域ビジョンに基づいて、町が担うべき役割を着実に実行し、地域内の消費拡大・循環を促進し、事業者の活力を生み出すまちづくりを進めます。

ハローワークや南三重地域就労対策協議会と連携し、地域の実情に即した労働、雇用対策に取り組むとともに、安心して持続的に働ける労働環境の実現を目指します。